

ステンレスユニットシェルフ

ステンレス追加棚

木製追加棚

組立・取扱説明書

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を理解した上で、正しく組み立て、正しくお使いください。
また、本書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

2024年9月26日

木製追加棚										
品 名		ステンレスユニットシェルフ 追加棚			ステンレスユニットシェルフ 追加棚			ステンレスユニットシェルフ ステンレス追加棚 タモ材		
規 格		幅84cmタイプ用	幅56cmタイプ用	幅42cmタイプ用	幅84cmタイプ用	幅56cmタイプ用	幅42cmタイプ用	幅84cmタイプ用	幅56cmタイプ用	幅42cmタイプ用
J A N		4550583922412	4550583922429	4550583922436	4550583922481	4550583922498	4550583922504	4550584339455	4550584339462	4550584339479
製品寸法		約幅805 ×奥行400 ×高さ25 mm	約幅530 ×奥行400 ×高さ25 mm	約幅395 ×奥行400 ×高さ25 mm	約幅805 ×奥行400 ×高さ25 mm	約幅530 ×奥行400 ×高さ25 mm	約幅395 ×奥行400 ×高さ25 mm	約幅805 ×奥行400 ×高さ25 mm	約幅530 ×奥行400 ×高さ25 mm	約幅395 ×奥行400 ×高さ25 mm
製品重量		約4.5 kg	約3 kg	約2.3 kg	約4.5 kg	約3 kg	約2.3 kg	約4.5 kg	約3 kg	約2.3 kg
用 途		ステンレスユニットシェルフ用棚板								
耐 荷 重		棚板1枚あたり 約30 kg ※棚全体で均等に荷重を掛けた場合								
材 質		棚板: MDF(オーク材突板)、フック: ステンレス鋼			棚板: MDF(ウォールナット材突板)、フック: ステンレス鋼			棚板: MDF(タモ材突板)、フック: ステンレス鋼		
表面加工		棚板: アクリルUV塗装、フック: 電解研磨								
原 産 国		中国								

ご使用方法

移動について
●引越しなどで移動をする際は、組み立て前の状態に戻してから運んでください。
ケガや製品の破損、床面がキズがつくおそれがあります。

廃棄について
●廃棄の際は、居住地域の自治体のルールに従い、処分してください。

お手入れ方法

保守・点検
●破損、変形した状態では使用しないでください。
●各部にゆるみやグラつきがないか定期的に点検し、ゆるんでいたらしっかり締め直してください。ケガや製品の破損、床面へのキズ防止になります。

木部のお手入れ
●長時間、化学雑巾を接触させたままにしないでください。変色や表面がはがれる原因となります。

木部・金属部のお手入れ
●通常のお手入れはやわらかい布で乾拭きしてください。
●汚れがひどい時は、3～5％程度に薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤をよくふき取ってください。次に乾いたやわらかい布で軽くふいた後で自然乾燥してください。

重要なお知らせ(安全上のご注意)

ここに示した警告・注意事項はお使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ずお守りください。

⚠ 警告

死亡や重傷などに結びつくおそれがあるもの

🚫 禁止

●不要になった梱包材は、幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ、窒息するおそれがあります。
●フィッティングパーツは幼児の手の届くところには置かないでください。また、なくさないでください。これらは小さく、誤飲してしまうと窒息などのおそれがあります。

🚨 行う

●棚セット(※)もしくは追加用帆立(単品)に付属の組立・取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。組み立てた製品に対し、お使いになる上での注意が記載されており、ケガを防ぎ、安全にお使いいただく為に重要です。

⚠ 注意

傷害を負う可能性や物的損害が生じるおそれがあるもの

🚫 禁止

●奥行寸法の異なる帆立に棚板を取り付けしないでください。固定できず、棚板の落下によりケガをするおそれがあります。
●耐荷重を超えて物をのせたり、耐荷重内でも一部に片寄ってのせたりしないでください。変形や破損の原因となり、ケガをするおそれがあります。
●修理や改造はしないでください。製品の強度が弱くなり、ケガをするおそれがあります。
●屋外では使用しないでください。変形や著しい劣化が起こり、ケガをする原因となります。

📌 お願い(その他 注意)

●木製追加棚は、使い始めは室内の換気を十分に行ってください。製品に微量にホルムアルデヒドが含まれることがあります。敏感な方や乳児などはアレルギー症状を起こすおそれがあります。
●木製追加棚は、直射日光を避け、冷暖房具の熱や風に当たらないようにしてください。反り、割れ、変色の原因になります。
●シンナーなどの有機溶剤や漂白剤などの薬剤でお手入れしないでください。変色や変形の原因となります。
●組み立ての際は、手袋などをつけて作業してください。思わぬケガの防止になります。

パーツリスト・各部の名称

①棚板×1

ステンレス追加棚

追加棚 オーク材
追加棚 ウォールナット材
追加棚 タモ材

追加棚 オーク材
追加棚 ウォールナット材
追加棚 タモ材

棚板

<表面>

追加棚 オーク材
追加棚 ウォールナット材
追加棚 タモ材

メネジ

<裏面>

フック

※イラストには、幅84cmを使用しています。
※本製品はフックを締めるための六角レンチは同梱されていません。棚セットや追加用クロスバー(単品)に付属している六角レンチもしくは市販品(4 mm)をご使用ください。

組立方法

- ユニットシェルフ全体の組み立てについては、棚セットもしくは追加用帆立(単品) 付属の組立・取扱説明書をよく読み正しく組み立ててください。
- 棚セットの組立・取扱説明書の【ユニットシェルフ・パーツ必要数確認表】をご確認の上、必ず、必要数のクロスバーを取り付けてください。

1 初めに、床面保護の為、敷物を敷いてください。組み立て後の移動を避けるため、なるべく設置位置の近くで組み立ててください。

①棚板の四隅に固定されているフック用ボルトをお手持ちの六角レンチ(4 mm)を使って、フックが自由に動く状態までゆるめてください。

つぶれ防止パーツ

輸送中のつぶれを防ぐ為、取り付けられています。

フック用ボルト

棚板1枚につき×4

お手持ちの六角レンチ(4 mm)

※お手持ちのマイナスドライバーなどで垂直に押し下げて、はずしてください。

①棚板の全てのフックのボルトが図のような状態になるまでゆるめ、フックはハの字になるようにしてください。

真上から見た図

木製追加棚の場合

お願い(その他 注意)

フック用ボルトは裏側のメネジがはずれるほど、ゆるめないでください。

メネジ

2 棚板を取り付けます。

前面

背面

ポイント①

ポイント②

ポイント③

帆立柱

帆立柱

帆立柱

ポイント①

引っ掛ける

ポイント②

手前に引く

ポイント③

押し込む

⚠ 注意

🚨 取り付ける際、指をはさまないようにしてください。ケガをするおそれがあります。

棚板のはめ込み

棚板がはまりにくい状態の時は、棚板上部を軽くたたいて棚板をはめ込んでください。はまらない場合は、全体的にフックを少しゆるめるようにすると、はまりやすくなります。

②フック用ボルトをお手持ちの六角レンチ(4 mm)で軽く締めます。(きつい状態から半回転程度ゆるめたぐらいにしておきます)

お手持ちの六角レンチ(4 mm)

お願い(その他 注意)

●フック用ボルトを締める際は、1箇所ごときつく締めず、徐々に締め込みながら4か所を締めてください。先に1箇所をきつく締めてしまうと、次が締めにくくなる場合があります。

③帆立、クロスバー、棚板が全てゆるめに取り付けられたら、ボルト類を締め込んでいきます。
棚板のフック用ボルトは前面、背面と交互に少しずつ閉めるようにしてください。一か所のみをきつく締めてしまうと、棚がゆがんで装着されて締めにくくなります。(詳細はセット本体の組立・取扱説明書をご参照ください。)

341036101-068-001-JPEN